

ニセコ町の自治創生の方向性（案）

＜本資料の位置づけ＞

- ✓ 人口減少社会の克服に向けた取組についてニセコ町の地域特性に応じて進めるため、まずは、「ニセコ町総合戦略」（仮称）の検討材料として、ニセコ町の「地域課題」（弱み）及び「地域資源」（強み）を洗い出し、町の関係者が共有する。
- ✓ 「地域課題」及び「地域資源」について、国総合戦略における基本目標と比較することにより、「人口減少社会の克服」との関係性を分かりやすく示す。（ただし、国の基本目標以外のニセコ町的地域性についても留意する。）

＜特に議論いただきたい点＞

1. 「地域課題」及び「地域資源」が網羅的・体系的に挙げられており、ニセコ町の現状・課題や地域特性、「人口減少社会の克服」との関係性などが分かりやすく把握できるか。
2. 「地域課題」及び「地域資源」は、今後、ニセコ町の自治創生の基本目標（重点化）を議論するための検討材料となることについても見込まれるか。
3. 「地域課題」及び「地域資源」のうち、特に客観的データや町民アンケートにより裏づけを行うべきものはあるか。

※国総合戦略（平成 26 年 12 月閣議決定）における基本目標

- ① 地方における安定した雇用を創出する
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

＜今後の作業内容＞

1. 客観的データ（町統計情報・計画類、町民アンケート調査、地域経済分析システム（RESAS）など）による裏づけ ※【ニセコ町人口ビジョン】
2. 客観的データに基づいた、具体的な取組や施策の「優先順位」及び「目標設定」の検討・判断 ※【ニセコ町総合戦略】
3. 地方創生に係る「上乗せ交付金」（平成 27 年 8 月計画提出・平成 27 年度内執行）、「新型交付金」（平成 28 年度以降）のエントリーの可能性の検討